

## 令和6年度 第2回 大阪府立平野支援学校 学校運営協議会 議事録

大阪府立平野支援学校  
校長 川村 典子

日 時	令和6年11月22日 (金) 10:00~12:00
場 所	大阪府立平野支援学校 小会議室
参加者	陸奥田 維彦 (委員) 岩元 康 (委員) 市場 達朗 (委員) 谷藤 誠宏 (委員) 中野 淳子 (委員) 松本 理香 (委員) 欠席 川村 典子 (校長) 長谷川 真哉 (教頭) 橋本 伸彦 (教頭) 中川 忠彦 (事務長) 井本 勇氣 (首席) 橋本 万以子 (首席) 玉井 実加 (指導教諭) 阪本 祥子 (小学部主事) 飯塚 恵子 (中学部主事) 欠席 杉本 琢哉 (高等部主事)
次第	(1)授業見学 中学部Bグループ「家庭科」 (2)令和7年度 使用教科用図書採択について (3)各学部の現況について (4)学校経営の進捗状況について ①安全で安心な教育環境整備 ②カリキュラムマネジメント (5)令和6年度学校教育自己診断 回答の集計結果について (6)協議
意見等の概要	<p>●令和7年度 使用教科用図書採択について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書資料の表記の仕方について全学部統一した方がよいとのご意見をいただいた。小学部の外国語教育については、高学年での対応であり、文部科学省より配付される冊子を活用していることを説明した。</li> </ul> <p>●各学部の現況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員が学部全体で協力・共有している姿をご覧になり、子どもが変化してきているということの評価された。</li> <li>行事などを通して、体験で終わらず、振り返りをしっかりと行い、体験を経験へと導くことで、児童生徒の日常にフィードバックできていると高評価を受けた。</li> <li>ベテラン教員から指導・助言を聞くことは素晴らしいことであると評価された。また、その教員の経験などを他の教員にも伝えていってもらいたいと要望された。</li> </ul> <p>●授業見学について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先生の言葉づかみや進め方がとてもよかった。そして、生徒が自分たちで何とかしようと努力する姿がよかったと高評価を受けた。</li> <li>子どもの「納得」と「参加」を大切にして指導していると評価された。</li> <li>生徒の姿勢について、車いすの調整や専門家の支援が必要ではと指摘を受けた。</li> </ul> <p>●学校経営の進捗状況について</p> <p>①安全で安心な教育環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練をノープランで行ったことについて、緊張感ある訓練となると評価を受けた。</li> </ul> <p>②カリキュラムマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程（類型）の基準について難しさがあると思うが、保護者及び本人との同意を得て、見解の相違が起らないように、何か手立てが必要ではないかと助言を受け、検討することとなった。</li> <li>支援学校は勉強を教えてもらえないと思っている保護者がいる。就学前から学校が学習内容や取り組みの情報を発信し、保護者が安心できるようにしてもらいたいと要望された。</li> </ul> <p>●令和6年度学校教育自己診断 回答の集計結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営に関する項目の評価が高いと評価をされた。</li> <li>学校教育目標とめざす児童生徒像を今年度変更したことについて、子どもだけでなく、大人もめざすものであると認識し取り組んでもらいたいと助言を受けた。</li> <li>可能であれば保護者に学校教育自己診断の項目内容として、教育方針が伝わっているかを確認することも必要であると助言を受けた。</li> </ul>
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>傍聴者 なし</li> <li>第3回開催予定 令和7年2月17日(月) 10:00~12:00</li> </ul>